

都政Report

レポート

2015年
新春号

●両角 穰（もろすみ みのる）

地元生まれ育った八王子っ子。明治大学政経学部政治学科卒、埼玉大学大学院政策科学研究科修了〔公共政策修士〕。横浜市職員、八王子市議会議員（4期）等を経て2013年より東京都議会議員（1期目）。現在、都議会では警察・消防委員会（理事）、オリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会に所属。都議会会派「かがやけTokyo」幹事長。また、一般財団法人オリンピック・パラリンピック大会組織委員会顧問を務める他、国立大学法人政策研究大学院大学の後期博士課程に在籍し、政策研究に取り組んでいる。

東京都議会議員 **もろすみ みのる** が都政の今をお伝えする
レポートです。



Facebook



twitter

もろすみのる

検索



東京からカエル!!

目次	1頁.....	1 ヤジ問題に大揺れの都議会！ 信頼回復と議会改革は道半ば	2 会派名称を「かがやけTokyo」に変更
	2頁.....	3 一般質問から	
	3頁.....	4 オリンピック・パラリンピック 施設整備計画見直し進む	
	4頁.....	5 平成27年度予算に向けて要望書を提出	6 都政の動き in HACHIOJI



photo by Morozumi

平成27年の幕が開きました。昨年は舛添新知事が誕生し、年末には、今後10年間の都政の羅針盤ともなる「東京都長期ビジョン」が発表されました。東京オリンピック・パラリンピックまで残すところ5年余りとなり、会場計画の見直しなど準備も急ピッチで進んでいます。この間、都議会ヤジ問題、みんなの党の解党に伴う会派名称の変更等、私にとっては激動の1年となりましたが、昨年1年を振り返っての都議会並びに都政の動きをお伝えします。

1 ヤジ問題に大揺れの都議会！ 信頼回復と議会改革は道半ば

昨年の都議会第2定例会、我が会派（みんなの党Tokyo：当時）の女性議員の一般質問中に本会議場から不適切なセクハラヤジが複数飛び、議場が騒然となりました。このことは「都議会ヤジ問題」として連日各種メディアに取り上げられ、一躍、都議会が注目を浴びることとなりました。また、その後、兵庫県議会議員の政務活動費の不正使用が発覚するなど地方議会の在り方が大きく問われた1年となりました。

結局、都議会での不適切発言については1名が名乗り出ただけで、他の発言についてはウヤムヤな幕引きとなってしまいました。私たちは、再発防止に向けた対応とともに「都議会のあり方検討会」を早急に設置し、このテーブルでヤジ問題を含めた議会改革を議論し実行に移すべきと再三に亘り申し入れを行っていますが、会派間の調整が付かず、都議会の改革は進んでいないのが現状です。



都議会ヤジ問題で取材に答える

2 会派名称を 「かがやけTokyo」に変更

昨年11月21日付で都議会会派「みんなの党Tokyo」は名称変更し、「かがやけTokyo」となりました。政策やメンバーは変わらずに活動を続けていきます。



東京都議会会派

「かがやけ Tokyo」

かがやけ Tokyo

3 一般質問から

平成26年第4回都議会定例会は、衆議院選挙実施を受けて11月28日から12月25日までの日程に変更となりました（11月29日～12月16日は休会）。この定例会で両角は、①中国漁船による違法操業、②救急医療、③都有財産の有効活用、④特殊詐欺対策の4項目について一般質問を行いました。

主な質疑についてご紹介します。



都議会本会議場にて一般質問をおこなう

在宅で療養する高齢者の支援をすすめよ！

都内の救急搬送はここ5年で7万人以上も増え、最近では、その半数近くを65歳以上の高齢者が占めています。今後ますます高齢者の救急搬送の増加が予想されるなかで、在宅療養高齢者を地域で支える環境整備を求めました。

Q（両角議員）区市町村を含めた慢性期医療機関等の広範な地域連携と患者搬送への支援を今後どうしていくのか？

A（福祉保健局長）昨年度から1区2市で地域の医療機関等と連携し在宅患者の搬送手段確保を支援している。今後、在宅医療患者が地域で安心して療養生活を送れるよう区市町村の取組みを支援していく。

都有財産の棚卸しをすすめ有効活用を図れ！

都が所有する普通財産は原野から都心の一等地まで様々です。従って、その中身をしっかりと把握することがまず重要となります。同時に、未利用の行政財産は早期に「棚卸し」をすすめ、さらに一定期間未利用なものは都民還元を心がけることが必要です。以上の視点で質問をおこないました。

Q（両角議員）財務局所管の普通財産のなかで、保育所や高齢者施設に活用可能なものはどの程度あるのか？

A（財務局長）都有地全体2,214件、487ha中、行政施設整備可能な500㎡～10,000㎡のものは、94件、21ha。

Q（両角議員）行政財産のなかにも、取り壊し後、利用目的が定まらないものなどがあるはず。こうした未利用地は速やかに普通財産化し都政の喫緊課題に活用すべき。そのためには、各局所管財産の棚卸し作業を早急に進めるべきではないか？

A（財務局長）普通財産への切り替えは、平成20年度策定の「主要施設10カ年維持更新計画」に基づき進めている。現在、同計画の見直しに着手しており、今後、時代状況の変化に適切に対処していく。

使用目的が定まっている行政財産でも、実際の工事着手まで何年も更地のまま放置されている例があります。このような行政財産は都民還元の視点から積極的に貸し出し等をすべきです。今回は、京王八王子駅至近にある旧都立産業技術研究所八王子支所跡地を取り上げ、質問をしました。



旧都立産業技術研究所八王子支所跡地

Q（両角議員）旧都立産技研八王子支所跡地は、将来、（仮称）産業交流拠点を整備する位置づけの行政財産である。平成24年に更地化されてから、これまでほとんど活用されていないが、今後、工事着手まで最短で3年ほどはかかると思われる。このような行政財産は、都民の共有財産として公共性のある行事などには積極的に使用を認めるべきではないか。今後の行政財産使用許可の都の基本姿勢は？

A（財務局長）一定期間、土地が未利用となると見込まれる場合、将来の土地利用に支障とならない範囲で暫定活用を行っている。今後とも都有地の適切な管理と有効活用に努めていく。

※行政財産＝現に行政目的に使用されている財産。
普通財産＝行政財産以外のもので、利用目的が定まっていなものの、行政課題への活用や売却などを有効に使用することが求められる。

首都東京から特殊詐欺被害を根絶せよ！

オレオレ詐欺などの特殊詐欺の平成26年の被害額は500億円を突破し、過去最高を記録しました。こうした被害をなくすために警視庁が実施している企業向けの取組み「特殊詐欺アクションプログラム・東京」について質問をしました。

Q（両角議員）特殊詐欺アクションプログラム・東京の効果と企業に向けた広報戦略はどのようなものか？ また、参加企業の声を反映したプログラムのアップデートが必要と思うが対応は？

A（警視總監）都内の特殊詐欺認知件数及び被害額は昨年同期に比して減少しており、一定の効果がでている。関係団体と連携して周知を図るとともに、訓練参加者の声や犯行手口の変化を反映させて内容を効果的なものに更新していく。

4 オリンピック・パラリンピック施設整備計画見直し進む

東京オリンピック・パラリンピックが行われる2020年まで6年を切りました。こうしたなか、昨年6月、知

事は、都が整備することとなっている施設の整備計画を大幅に見直すことを表明。その結果、バドミントン（夢の島）、バスケットボール（夢の島）、セーリング（若洲）の3施設の新設を取りやめ、既存施設の活用が打ち出されました。見直しは、整備費高騰への対応のほか、都民生活への影響や後利用の在り方を考えたもので、議会質疑でムダのない五輪施設整備を訴えてきた私も趣旨賛同するものです。見直しの結果、整備費用は約2000億円削減されることとなりました。

バリアフリー化は障害者目線に立ってすすめよ！

バリアフリー化されているにもかかわらず、障害者の目線からは不十分な事例が報告されています。そこで、施設整備にあたっては障害者の方々の声を反映するよう求めました。

Q（両角委員）最寄り駅から各施設へのルートや競技会場自体にもそれぞれ障害者目線に沿ったバリアフリー化が求められるが、バリアフリー化への取組みは？

A（大会計画担当部長）11月に都・国・組織委員会共催による「東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたアクセシビリティ協議会」を設置した。今後、障害者団体等の意見も踏まえ検討をすすめていく。

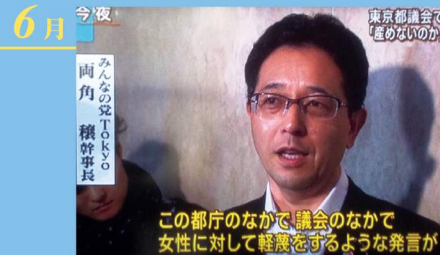
2020年東京オリンピック・パラリンピック会場計画の再検討の状況について				
1 再検討の視点	再検討の方向性			
○東京にどのようなレガシーを残せるか	○都民生活への影響	○整備費高騰の懸念への対応	の3つの観点から再検討を実施	
2 都が新設予定の施設の検討結果	実施予定競技	再検討の着眼点	今後の方向性	
1 100mバレーボール	バレーボール	大会時と万人収容の会場を大会後に適正規模の5千人に縮小する工法や大会後の利用について、基本設計を通じて検討	新設	設計進捗より整備（大会後観客席を縮小）
2 海の森水上競技場	ボート（スプリント）	立地補正から大会後の会場利用の観点で、基本設計を通じて検討	新設	整備費を削減し、設計進捗より整備（大会後観客席を縮小）
3 有明アリーナ	バレーボール	複数の大会競技が実施可能ななど、大会後に想定される利用方法等を踏まえた具体的な施設構造等を、基本設計を通じて検討	新設	設計進捗より整備
4 夢の島・有明アリーナ	バレーボール	有明アリーナを含めた3つの施設の敷地の間に、負の遺産となることを回避した具体的な施設構造等を、基本設計を通じて検討	新設	設計進捗より整備
5 夢の島・有明アリーナ	バレーボール	新設予定の予定地などに係る整備費の増を抑制しつつ、セーリングの観客席の歴史的背景、公園の緑等自然環境に配慮し、広く都民にも利用される施設として整備	新設	設計進捗より整備
6 有明アリーナ	バレーボール	既存の野球場利用者への影響を抑制しつつ、サッカー等の拠点として整備	新設	設計進捗より整備
7 有明アリーナ	バレーボール	既存の野球場利用者への影響を抑制しつつ、サッカー等の拠点として整備	新設	設計進捗より整備
8 有明アリーナ	バレーボール	既存の野球場利用者への影響を抑制しつつ、サッカー等の拠点として整備	新設	設計進捗より整備
9 夢の島公園	バレーボール	既存の野球場利用者への影響を抑制しつつ、サッカー等の拠点として整備	新設	設計進捗より整備
10 夢の島公園	バレーボール	既存の野球場利用者への影響を抑制しつつ、サッカー等の拠点として整備	新設	設計進捗より整備

オリンピック・パラリンピック会場計画の再検討の状況

写真でみる
1年



初登庁した舩添都知事と意見交換



都議会ヤジ問題で報道ステーションの取材に答え議会改革を訴える



福島第1原発を視察



オリンピック・パラリンピック顧問会議に出席



大島土砂災害から1年。現地視察後に追悼式に参加し被災者の話を伺う



平成27年度予算に向けて要望をとりまとめ

5 平成27年度予算に向けて 要望書を提出

かがやけTokyoでは、これまでの質疑や都民の皆様から寄せられた声をもとに「平成27年度東京都予算編成に関する要望」を取りまとめ、昨年末に知事宛提出いたしました。要望書は7つのカテゴリー、268項目に及んでいますが、今回、特に昨年のヤジ問題を受けての女性政策の充実や、持続可能な都政運営を目指しコストをカットする行財政の改革などに力点を置きました。



安藤副知事に会派予算要望書を提出

6 都政の動き in HACHIOJI

八王子消防署まもなく完成

八王子消防署が現在の大横町から上野町に移転します。現在、ほぼ、新庁舎は建設が済み、2/12に落成式典が行われる予定です。春には上野町に八王子消防署の移転が完了します。また、現在の大横町庁舎は、富士森出張所が暫定的に利用する予定です。なお、鏈水地区では引き続きハイパーレスキュー隊庁舎の建設がすすめられています。



新設の
八王子消防署

八王子警察署工事始まる

昨年11月に市内元本郷町市役所横用地で八王子警察署の新築工事が始まりました。

完成は平成29年6月末の予定で、その後、手狭になった現在の元横山町の八王子警察署が移転の運びとなります。



工事が進む
八王子警察署

アーケード撤去完了

昨年の大雪で崩落した甲州街道のアーケード。私もお力添えをさせていただき東京都補助を得て地元商店街による撤去が年内に完了しました。



アーケード撤去
完了

追分歩道橋改築工事本格的にスタート

都道陣馬街道、国道20号を跨ぐ追分歩道橋。工事が遅れていましたが、本格的に工事が始まりました。現在、第2歩道橋の撤去・架け替えに向けた作業が進んでいます。地元の皆さんとともに初期段階から追分歩道橋問題に取り組んできた者として平成27年度中の完了が待たれるところです。



追分歩道橋改築
工事